



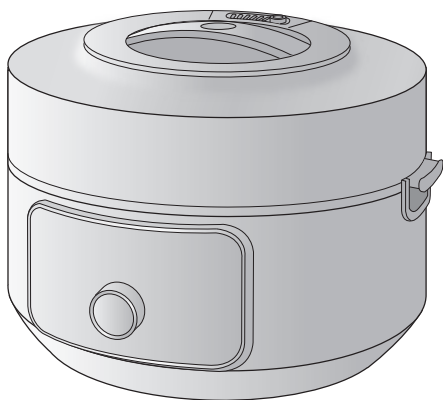
マイコン電気圧力鍋

YPCC-M400

取扱説明書

保証書付

もくじ



家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途での使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。



こちらのQRコードから
レシピ詳細をご覧ください。

レシピ・監修：Motti & Benton Food Consulting inc.

- 安全上のご注意…………… ①～③
- 使用上のご注意…………… ③
- 圧力調理のコツ…………… ④
- 仕様…………… ④
- 各部の名称…………… ⑤～⑥
- 準備…………… ⑦～⑧
- 圧力調理/無圧調理…………… ⑨～⑮
- 自動メニュー…………… ⑯～⑰
- 早くふたを開けたいとき…………… ⑱
- お手入れ…………… ⑲～⑳
- 故障かな?と思ったら…………… ㉑
- アフターサービスについて…………… ㉒
- 点検…………… ㉒
- 保証書…………… 裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- ・このたびは、弊社電気圧力鍋をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害や物的損害に結びつく可能性のあるもの

図記号の説明



禁止

禁止 (してはいけないこと) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制 (必ずすること) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

マイコン電気圧力鍋は、加熱されると内部が高温・高圧になり、取り扱いを誤ると危険です。次の注意事項をよくお守りください。



警告

電源プラグ・コードは正しく扱う



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



交流100V
15A以上

電源は交流100Vで使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。



ホコリをとる

電源プラグの刃にホコリが付いているときは、乾いた布でふき取る

火災の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電やけがの原因になります。



プラグを抜く

使用時以外やお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがをすることがあります。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火の原因になります。



根元まで差し込む

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。

警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



プラグを抜く

異常・故障時には、直ちに使用を中止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。

【異常・故障例】

- 使用中、電源プラグやコード・本体が異常に熱くなる。
- 煙が出たりこげくさい臭いがする。
- 触れるとビリビリと電気を感じる。
- 圧力ピンが上がらない。
- 本体が変形したり、ひび割れがある。



禁止

不安定な場所や、熱に弱いテーブルなどで使わない

じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上でも使わないでください。熱で変形・変色や火災の原因になります。



禁止

すき間からピンや針金など、異物を入れない

感電や異常動作して、けがの原因になります。



禁止

取扱いに不慣れな方や子供だけで使用したり、幼児の手の届く所で使わない

感電やけが、やけどの原因になります。



圧力調理後ふたを開けるときは、蒸気抜きボタンを押して、蒸気を完全に排出する

なべに圧力が残っていると、ふたが飛んだり調理物が吹き出し、やけどやけがの原因になります。



水濡れ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



禁止

調理以外の用途には使わない

異常過熱や異常動作により、やけどやけが、火災の原因になります。



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、おもりや圧力ピンに顔や手などを近づけない

やけどの原因になります。特に乳幼児に触らせないようにしてください。



禁止

加圧中は、絶対にふたを開けたり移動しない

やけどやけがの原因になります。



禁止

内鍋に適正容量以上の材料や調味液を入れない

調理物や蒸気が吹き出し、やけどやけがの原因になります。



禁止

多量の油や重曹など急激に熱反応して発泡するものを入れない

やけどやけがの原因になります。



禁止

次の状態で使用しない

やけどやけがの原因になります。

- ふたを確実に閉めていない。
- おもり、ノズル、ノズルキャップが穴詰りしている。
- おもり、ノズルキャップを取り付けていない
- パッキンが傷んでいる。
- パッキンやパッキン押さえに異物が付着している。

注意



接触禁止

使用中や使用直後は高温部に触れない

やけどの原因になります。



禁止

水のかかる所や、火気の近くでは使用しない

感電や漏電の原因になります。

⚠ 注意



禁止

壁や家具の近くや周囲に熱がこもる環境で使わない

熱や蒸気で変形・変色、火災の原因になります。
※壁や家具から30cm以上離してください。
キッチン用収納棚などで使うときは蒸気がこもらないように注意してください。



お手入れは電源プラグをコンセントから抜き本体が冷えてから行う

やけどやけがの原因になります。



カレーやシチューのルーなどの粘性のあるものを入れたあとは、ふたをしない

やけどの原因になります。



本体を持ち運ぶときは、ふた取っ手を持たず、必ず本体取っ手を持つ

ふたが開き、やけどやけがの原因になります。

使用上のご注意

- 初めて使うときや長期間保管されたときは、内鍋やふたを洗い乾燥させてください。
- 本体と内鍋の間に絶対水を入れしないでください。
- 内鍋の外側や熱板、温度センサーに付いた異物は、必ず取り除いてください。
故障の原因になります。
- 加圧中、本体にふきんなどをかけたり、物を置かないでください。
変形や変色、故障の原因になります。
- 内鍋を直火にかけたり、電磁調理器・電子レンジなどで使用しないでください。
- 空炊きしないでください。
- 機能・性能を維持するため本体には通気口を設けてありますが、この穴からほこりや虫が入ると故障の原因になります。本体や本体の周りは清潔にご使用ください。
虫などが入って故障した場合は、有償修理になります。
- 内鍋のフッ素加工を長持ちさせるために
 - ・泡立て器や金属製の用具など固いものを使用しない。
 - ・調理物を長時間入れたままにしないで、早めに洗う。
 - ・固いスポンジやたわしなどで洗わない。
 - ・食器乾燥機や食器洗浄機を使わない。
 - ・洗米したり材料を洗わない。
 - ・熱いうちに水をかけない。
 - ・衝撃を与えたり、落とさない。
- 内鍋は、ご使用にともない色むらができたり、はがれることがありますが性能や衛生上問題ありません。
気になる場合は、部品としてご購入いただけます。(お買い上げの販売店にご注文ください。)

必ず、守って
ください



圧力調理のコツ

[料理をうまく仕上げるには]

- 調味液や調味料は、あらかじめよく混ぜ合わせてから入れてください。
センサーが誤検知して、生煮えになるなど、うまく調理できない原因になります。
- 材料は、種類ごとに同じ大きさに切ってください。
- 異なる材料を同時に調理する場合は、火の通りにくい材料は小さく、火の通りやすい材料は大きく切ると、火の通りが均一になります。
- 煮汁は、控えめにしましょう。

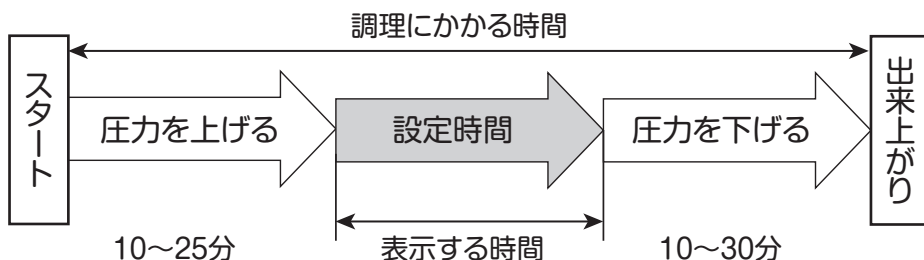
[時間設定の決めかた]

加圧時間は、材料のかたさや大きさに決めます。

- ・同じ材料でも1個(1切れ)の大きさが小さいものは、早く火が通ります。
- ・同じ材料で大きさが同じの場合、量が違っても調理にかかる時間は変わりません。

[調理時間について]

調理にかかる時間は、「圧力を上げる時間」+「設定時間」+「圧力を下げる時間」です。



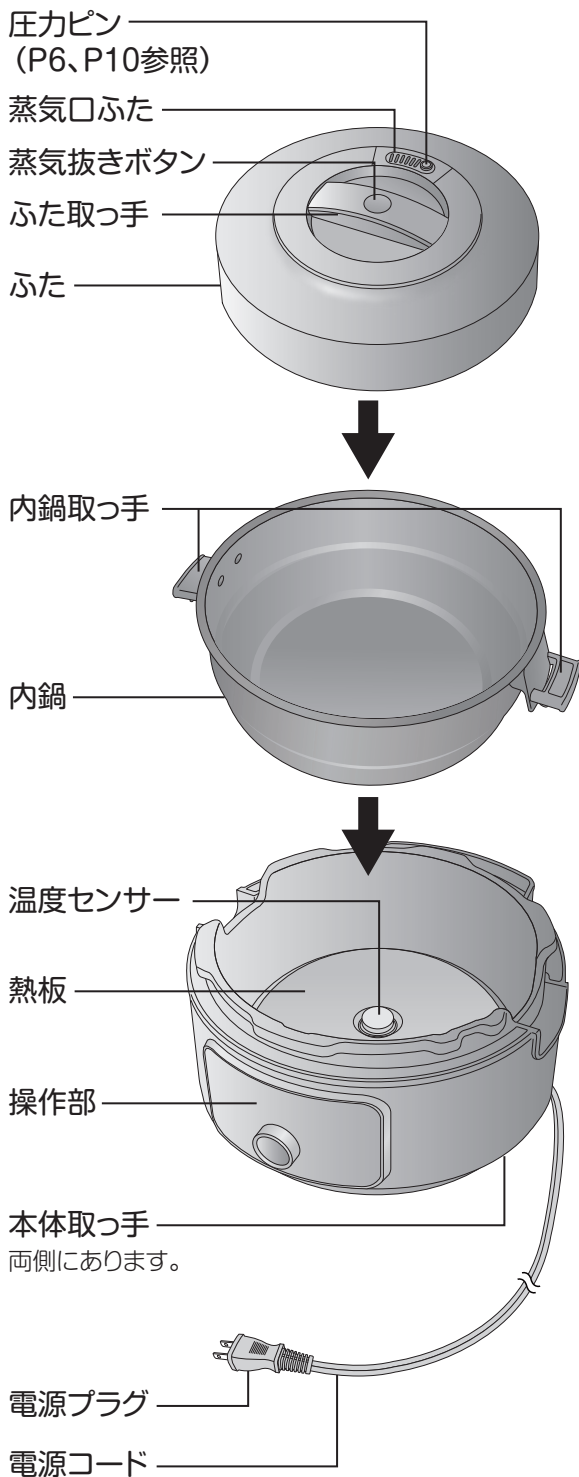
- ※「圧力を上げる時間」や「圧力を下げる時間」は、材料の種類や量などによって異なります。
- ※「設定時間」は、内部の圧力が一定に上がってからの調理時間を示します。
圧力が上がるまで、表示する時間が変わりませんが、故障ではありません。

仕様

定 格	AC100V 50/60Hz 1200W
最 高 圧 力	70kPa
寸 法	(約) 幅322×奥行337×高さ228mm
質 量	(約) 5.6kg
コ ー ド 長	1.0m
調 理 容 量	(約) 2.6L
炊飯容量(白米)	1.44L(8合)
呼び容量(満水容量)	(約) 4.0L
安 全 装 置	温度ヒューズ、電流ヒューズ、圧力スイッチ

各部の名称

本体

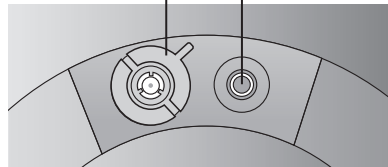


蒸気口ふた下面

蒸気口ふたを外してください。

おもり
(P7参照)

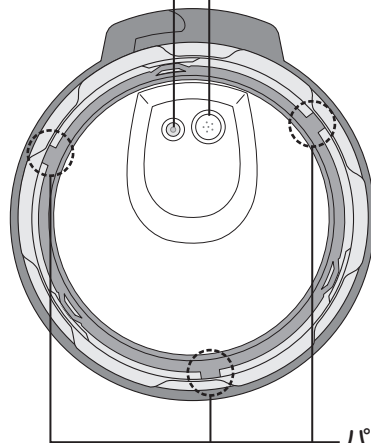
蒸気口



ふた内面

圧力ピンキャップ

ノズルキャップ

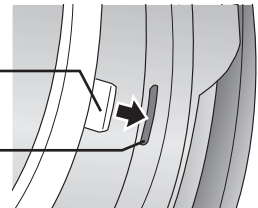


パッキン凸部
(3箇所)

パッキン凸部(3箇所)を、ふたの穴(3箇所)に差し込んでください。

パッキン凸部

穴

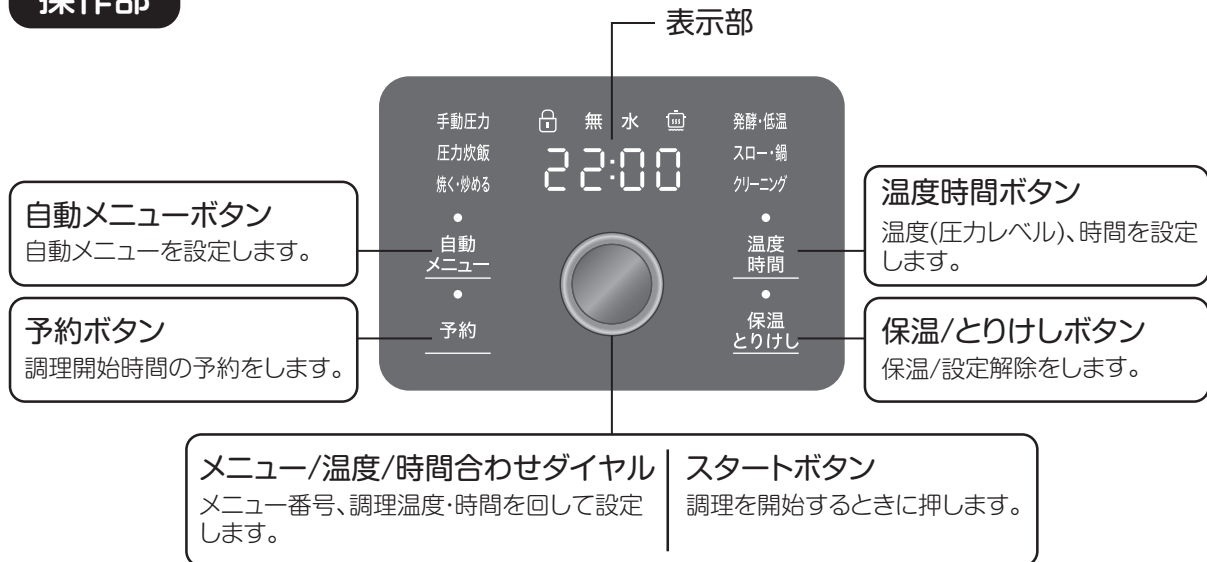


⚠ 注意

内鍋の外側や熱板、温度センサーに異物がつかないようにしてください。うまく調理できない原因になります。

各部の名称

操作部



付属品



計量カップ



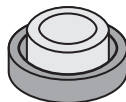
しゃもじ (スタンド式)
寝かせて置くことも
できます。



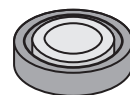
おたま

[圧力ピンについて]

圧力が上昇すると、蒸気が吹き出し
圧力ピンが上がり始めます。
圧力が一定になると、圧力ピンが上
がりきって、蒸気の吹き出しが止ま
ります。



圧力が一定になったとき
(加圧状態)



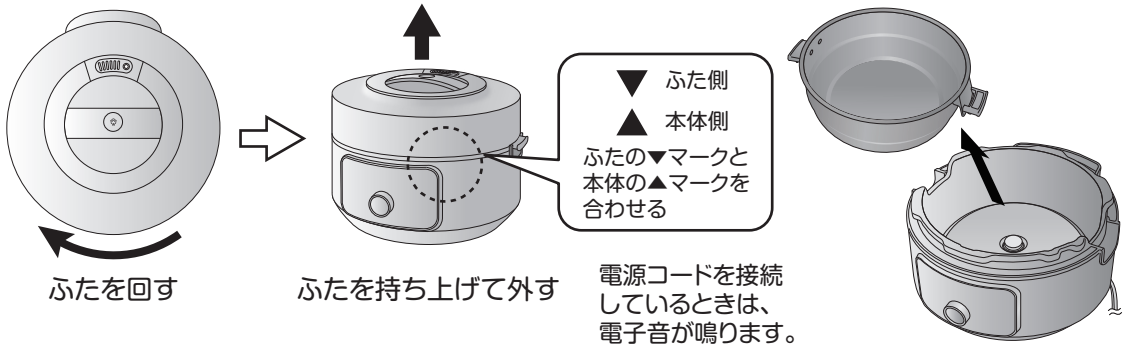
圧力がかかっていないとき

準備 1

1 ふたを開けて内鍋を取り出す

①ふた取っ手を持って、矢印方向に回します。

②ふたを外し内鍋を取り出します。

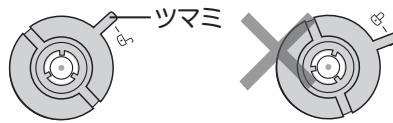


2 各部品の取り付け状態の確認

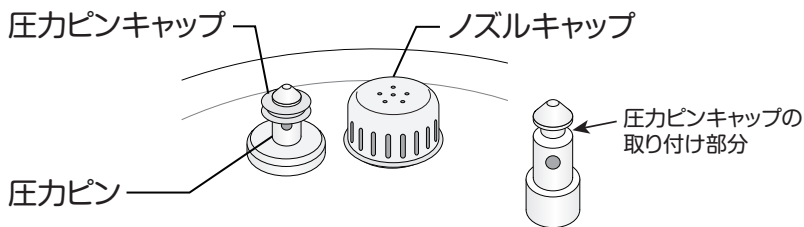
調理開始前やお手入れ後に
必ず確認してください。

【 おもり 】 正しい位置に合わせます。

ツマミを「凸」の位置にする
※ツマミは下に押し込みながら回す



【 ノズルキャップ・圧力ピン・圧力ピンキャップ 】 穴詰りのないことを確認して、
正しく取り付けます。(P19、20参照)



【 パッキン 】 パッキン凸部(3箇所)を、ふたの穴(3箇所)に
差し込んでください。(P5参照)



準備2

3 内鍋に材料を入れて本体にセットする

レシピ集などを参考に材料を入れ、本体にセットします。

注意してください

- 内鍋の外側や熱板、温度センサーに異物が付着していたら、ふき取ってください。
- 内鍋に適正容量以上の材料や調味液を入れないでください。
 - ・肉料理は「肉料理ここまで」ラインを超えない
 - ・豆類・麺類は「豆類ここまで」ラインを超えない
- 多量の油や重曹など急激に熱反応して発泡するものを入れないでください。



〔内鍋の目盛〕

白米 おかゆ

8—

6—1.5 玄米

4—1

2—0.5

肉料理
ここまで

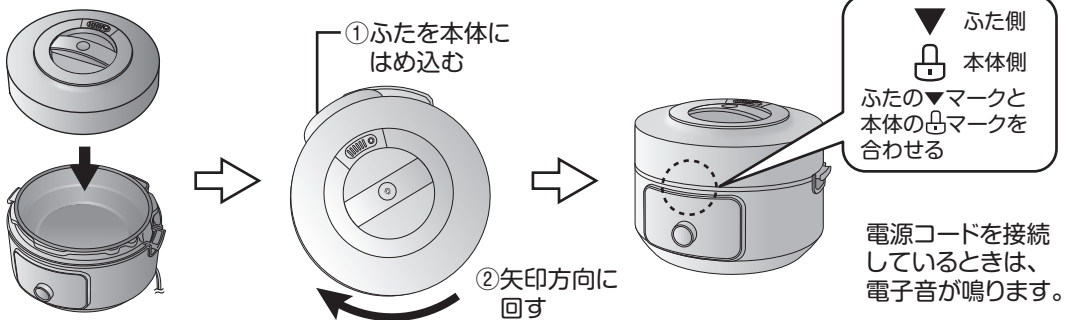
肉料理は、「肉料理ここまで」ラインを超えない(調味液含む)

豆類
ここまで

豆類や麺類など調理で分量が増えるものは、「豆類ここまで」ラインを超えない(調味液含む)

4 ふたを閉める

ふた取っ手を持って、次のようにふたを本体にはめ込み、矢印方向に回してロックします。



注意してください

カレーやシチューのルーなどの粘性のあるものを入れたあとは、ふたを開けてください。

ふたが完全に閉まっていないと、表示部に

OPEN と表示されます。

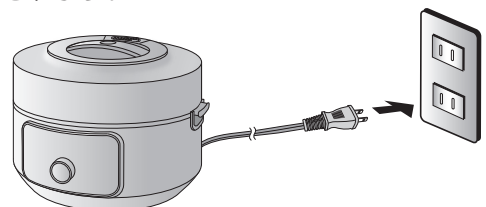
5 電源プラグをコンセントに差し込む

全てのランプが点灯し、電子音が鳴ります。

その後「手動圧力」が点滅し、表示部に **-----** と表示されます。

注意してください

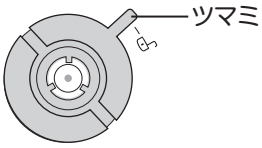
コンセントの定格を超えないようにしてください。



手動圧力1

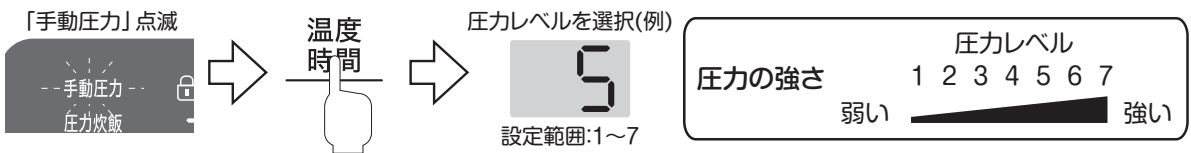
— 圧力調理 —

おもりのツマミを「」の位置にする



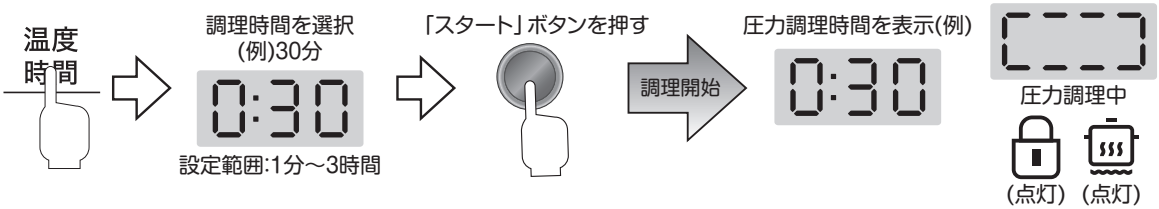
1 ダイヤルを回し「手動圧力」に合わせて、「温度時間」ボタンに触れて圧力レベルを選択する

「温度時間」ボタンに触れた後、表示部に圧力レベルが表示されます。
ダイヤルを回して圧力レベルを選択してください。



2 再度「温度時間」ボタンに触れて調理時間を選択し、「スタート」ボタンを押して調理を開始する

「温度時間」ボタンに触れた後、表示部に調理時間が表示されます。
ダイヤルを回して調理時間を選択してください。



圧力調理が終了すると、ブザーが鳴り自動的に保温になります。
表示部に保温時間が表示されます。(1時間単位で表示し、最大12時間)
※保温時間の表示は12時間以降はカウントしませんが、保温はその後も続きます。長時間の保温は避けてください。
※保温時間の表示は、12時間以降は点滅します。

2時間経過時

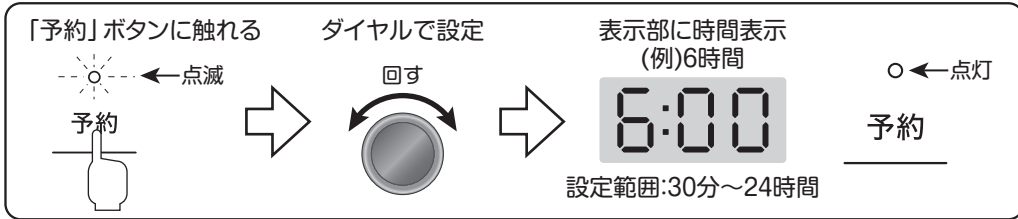


予約調理する場合は、圧力レベル・調理時間を選択した後に「予約」ボタンで予約時間を設定してから「スタート」ボタンを押してください。予約した時間を経過すると調理開始します。

手動圧力2

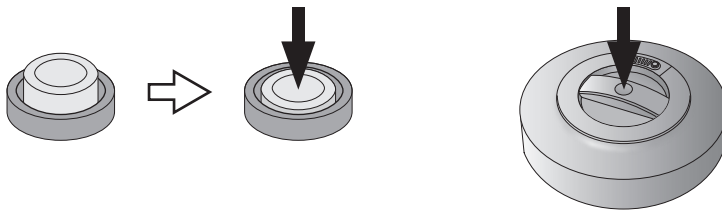
— 圧力調理 —

予約設定 予約時間は時刻ではありません。設定した調理温度・時間、圧力レベルは機器に記憶されますので、前回の設定で調理できます。メニュー番号は記憶できません。「焼く・炒める」「発酵・低温」は予約設定できません。



3 排気する

- ① 圧力ピンが下がったことを確認する ② 蒸気抜きボタンを押す



注意してください やけどやけがの原因になります。

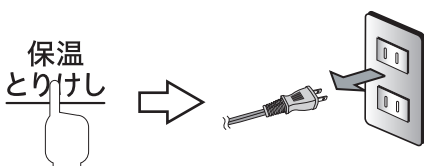
- 圧力調理中に圧力ピンやおもりに顔や手を近づけたり、触れたりしないでください。
- 圧力調理中や調理直後は、絶対におもりを動かさないでください。

4 ふたを開ける (P7参照)

- ふたを開けるときは、取っ手をわずかに動かし、いったんとめたときに、ふたのすき間から蒸気が出ていないことを確認してください。
- ふたが重いときは、鍋に圧力が残っていることがあります。無理に開けず、再度蒸気抜きボタンを押してからふたを開けてください。
- 続けて調理するときは、本体が冷めるまで待って、圧力ピンやノズルなどに詰まりがないか、必ず確認してください。

5 調理を終了する

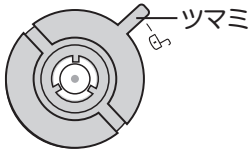
「とりけし」ボタンに触れてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。



圧力炊飯

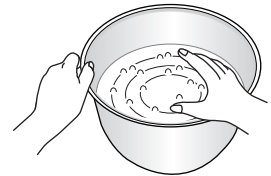
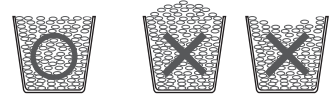
— 圧力調理 —

おもりのつまみを「凸」の位置にする



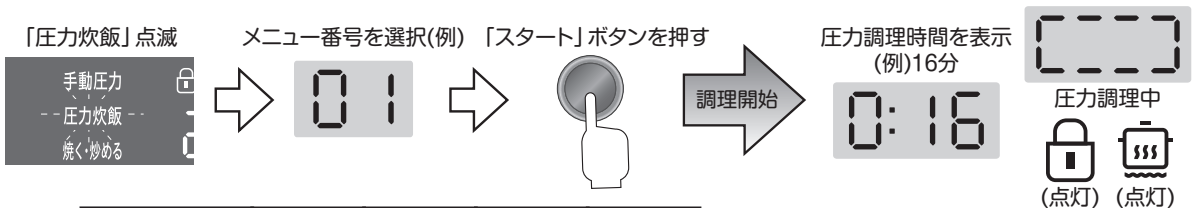
1 洗米して内鍋に入れ、本体にセットする

- ① 付属の計量カップではかります。
※ すりきり一杯で1合 (180mL) です。
- ② たっぷりの水で手早く洗います。
※ 内鍋で洗米しないでください。
- ③ 内鍋を水平に置き、内鍋の内側の目盛に水位を合わせます。
※ 炊飯前にお米を浸水する必要はありません。



2 ダイヤルを回して「圧力炊飯」に合わせてメニュー番号を選択し、「スタート」ボタンを押して調理を開始する

「圧力炊飯」に合わせた後、表示部にメニュー番号が表示されます。
ダイヤルを回してメニュー番号を選択してください。



メニュー番号	01	02	03	04
メニュー	白米	玄米	赤飯	雑穀米

圧力調理が終了すると、ブザーが鳴り自動的に保温になります。
表示部に保温時間が表示されます。(1時間単位で表示し、最大12時間)
※ 保温時間の表示は12時間以降はカウントしませんが、保温はその後も
続きます。長時間の保温は避けてください。
※ 保温時間の表示は、12時間以降は点滅します。

2時間経過時

24

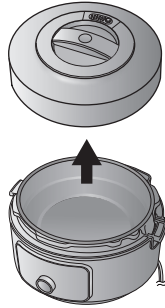
予約炊飯する場合は、メニュー番号を選択した後に
「予約」ボタンで予約時間を設定してから「スタート」ボタンを押してください。
予約した時間を経過すると調理開始します。

3 P10「圧力調理2」手順3～5を参考に、調理を終了する

焼く・炒める

— 無圧調理 —

ふたを外してください。



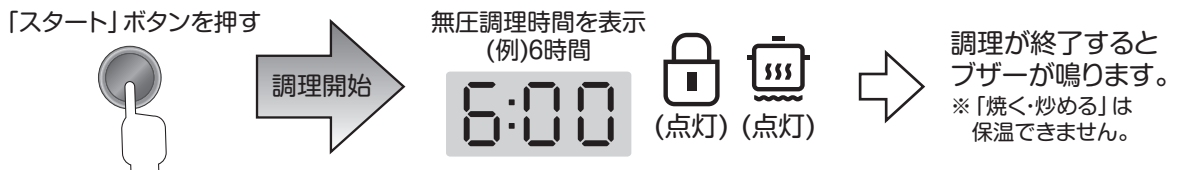
1 ダイヤルを回し「焼く・炒める」に合わせて、「温度時間」ボタンに触れて調理温度・時間を選択する

「温度時間」ボタンに触れたあと、ダイヤルを回して調理温度・時間を選択してください。



設定した調理温度・調理時間は機器に記憶されますので、前回の設定で調理できます。

2 「スタート」ボタンを押して調理を開始する



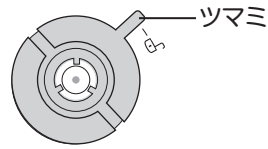
3 調理を終了する

「とりけし」ボタンに触れてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

無水

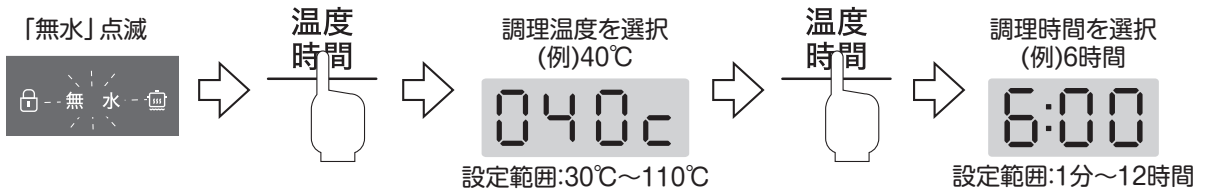
— 圧力調理 —

おもりのつまみを「」の位置にする



1 ダイヤルを回し「無水」に合わせて、「温度時間」ボタンに触れて調理温度・時間を選択する

「温度時間」ボタンに触れたあと、ダイヤルを回して調理温度・時間を選択してください。



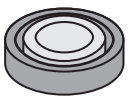
2 「スタート」ボタンを押して調理を開始する



予約調理する場合は、調理温度・時間を選択した後に「予約」ボタンで予約時間を設定してから「スタート」ボタンを押してください。予約した時間を経過すると調理開始します(予約設定…P10参照)。

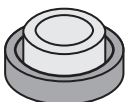
3 調理を終了する

圧力ピンが下がっている場合 ※温度設定によっては圧力ピンが上がらない場合もあります。



「とりけし」ボタンに触れてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

圧力ピンが上がっている場合

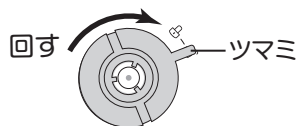


P10「圧力調理2」手順3~5を参考に、排気してから調理を終了してください。

発酵・低温

— 無圧調理 —

おもりのつまみを「」の位置にする



1 ダイヤルを回し「発酵・低温」に合わせて、「温度時間」ボタンに触れて調理温度・時間を選択する

「温度時間」ボタンに触れたあと、ダイヤルを回して調理温度・時間を選択してください。



設定した調理温度・調理時間は機器に記憶されますので、前回の設定で調理できます。

2 「スタート」ボタンを押して調理を開始する



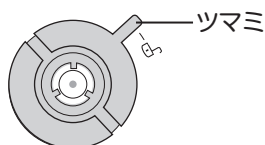
3 調理を終了する

「とりけし」ボタンに触れてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

スロー・鍋

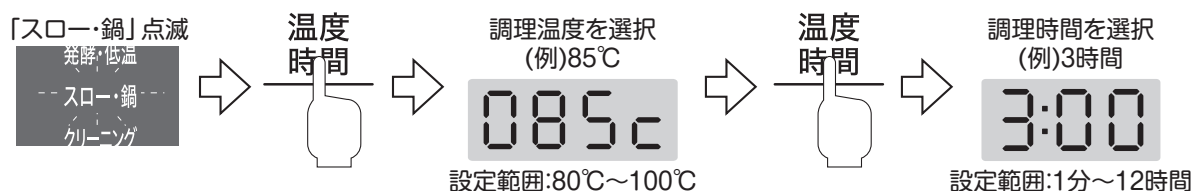
— 圧力調理 —

おもりのつまみを「凸」の位置にする



1 ダイヤルを回し「スロー・鍋」に合わせて、「温度時間」ボタンに触れて調理温度・時間を選択する

「温度時間」ボタンに触れたあと、ダイヤルを回して調理温度・時間を選択してください。



設定した調理温度・調理時間は機器に記憶されますので、前回の設定で調理できます。

2 「スタート」ボタンを押して調理を開始する

「スタート」ボタンを押す



調理開始

無圧調理時間を表示
(例)6時間

6:00



(点灯) (点灯)

調理が終了すると、ブザーが鳴り自動的に保温になります。

表示部に保温時間が表示されます。(1時間単位で表示し、最大12時間)

※保温時間の表示は12時間以降はカウントしませんが、保温はその後も続きます。

長時間の保温は避けてください。

※保温時間の表示は、12時間以降は点滅します。

2時間経過時

2H

予約調理する場合は、調理温度・時間を選択した後に「予約」ボタンで予約時間を設定してから「スタート」ボタンを押してください。予約した時間を経過すると調理開始します(予約設定…P10参照)。

3 調理を終了する

圧力ピンが下がっている場合

※温度設定によっては圧力ピンが上がらない場合もあります。



「とりけし」ボタンに触れてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

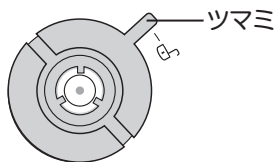
圧力ピンが上がっている場合



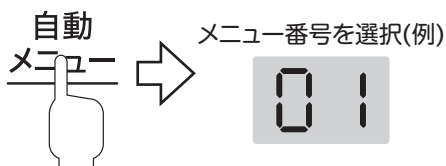
P10「圧力調理2」手順3~5を参考に、排気してから調理を終了してください。

自動メニュー1

おもりのツマミを「」の位置にする



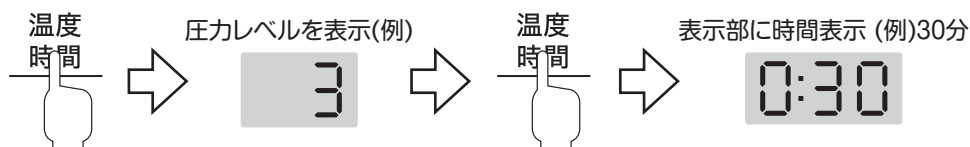
1 「自動メニュー」ボタンに触れてダイヤルを回し、メニュー番号を選択する



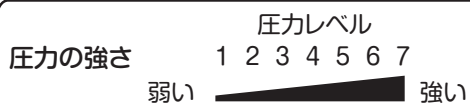
メニュー番号	メニュー	メニュー番号	メニュー
01	角煮	05	おでん
02	肉じゃが	06	おかゆ
03	カレー	07	イワシの梅生姜煮
04	黒豆	08	アクアパッツァ

2 「温度時間」ボタンに触れて、圧力レベル・圧力調理時間を選択する

「温度時間」ボタンに触れたあと、ダイヤルを回して圧力レベル・圧力調理時間を選択してください。



設定した圧力レベル・圧力調理時間は機器に記憶されますので、前回の設定で調理できます。
メニューごとに初期設定・設定範囲が異なります(下表参照)。

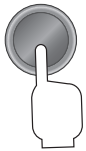


メニュー	圧力レベル設定範囲			圧力調理時間設定範囲		
	初期設定	最小	最大	初期設定	最小	最大
01・角煮	3	1	7	30分	1分	3時間
02・肉じゃが	2			10分		
03・カレー	5			20分		
04・黒豆	1			5分		
05・おでん	5			50分		
06・おかゆ	2			20分		
07・イワシの梅生姜煮	7			6分		
08・アクアパッツァ	1			2分		

自動メニュー2

3 「スタート」ボタンを押して調理を開始する

「スタート」ボタンを押す



残り時間を表示
(例)30分

0:30

圧力調理中



(点灯)



(点灯)



圧力調理が終了すると、ブザーが鳴り自動的に保温になります。
表示部に保温時間が表示されます。(1時間単位で表示し、最大12時間)
※保温時間の表示は12時間以降はカウントしませんが、保温はその後も
続きます。長時間の保温は避けてください。
※保温時間の表示は、12時間以降は点滅します。

2時間経過時

2H

予約調理する場合は、圧力レベル・調理時間を選択した後に
「予約」ボタンで予約時間を設定してから「スタート」ボタンを押してください。
予約した時間を経過すると調理開始します(予約設定…P10参照)。

4 P10「圧力調理2」手順3～5を参考に、調理を終了する

早くふたを開けたいとき

圧力調理後、圧力ピンが自然に下がりきる前にふたを開けたいときは、次の手順で必ず蒸気を抜いてから開けてください。

※ふたを早く開けると、具材への味の染み込みが浅くなります。

注意してください

- 圧力調理中や圧力調理直後は、絶対に排気しないでください。
- 周りに人やペットがいないことを確認してから行ってください。
- 蒸気は高温のため、十分注意して排気してください。

1 調理が終わったら、「とりけし」ボタンに触れる

「とりけし」ボタンに触れてから5分以上待ってください。



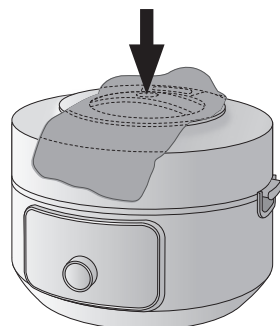
2 排気する

- ①軽く水に濡らしたタオルをふたの上にかぶせる
- ②タオルの上から蒸気抜きボタンを押す

※蒸気口から蒸気が吹き出します。水分の多い料理の場合、おもりや圧力ピンから調理物が吹き出すことがあります。

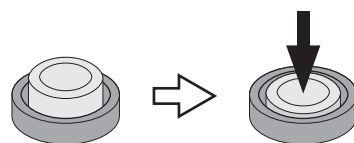
※蒸気が出始めたら、すぐに手を離してください。

蒸気抜きボタンを押す



3 蒸気が出なくなったら、ふたを開ける

タオルを取り外して、圧力ピンが下がっていることを確認してから、ふたを開けてください。



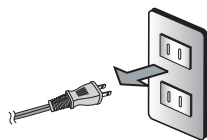
お手入れ1 汚れたらすぐにお手入れしてください。

1 電源プラグをコンセントから抜く



注意

使用直後は、内鍋やふたなどが熱くなっています。
お手入れは、十分冷えたことを確認してから行ってください。



2 お手入れをする

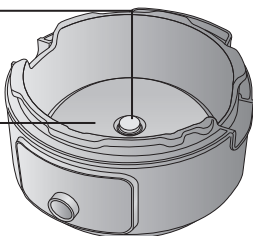
本体・熱板・温度センサー

水に浸して固くしぼったやわらかい布でふいてください。

温度センサー

米粒や異物がつまっているときは、
竹ぐしなどで取り除いてください。

熱板



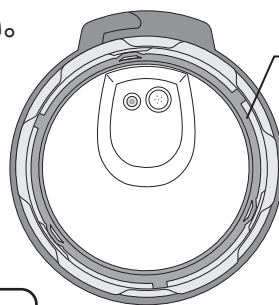
注意

内鍋の外側や熱板、温度センサーに
付着した異物は、必ず取り除いてく
ださい。うまく調理できない原因に
なります。

内鍋・ふた・パッキン

※ご使用ごとに洗ってください。

- 内鍋やふたは、やわらかいスポンジや布を使って
台所用中性洗剤で洗い、よくすすいでから乾燥
させてください。
- パッキンは、パッキン押えから外して、やわらかい
スポンジや布を使って台所用中性洗剤で洗い、
よくすすいでから乾燥させてください。



パッキン



注意

- お手入れの際に台所用中性洗剤以外の洗剤・シンナー・
クレンザー・金属たわしなどを使わないでください。
変色・変質・劣化などの原因になります。
- 食器洗浄機や食器乾燥機は、使わないでください。

圧力ピン・圧力ピンキャップ・ノズルキャップ

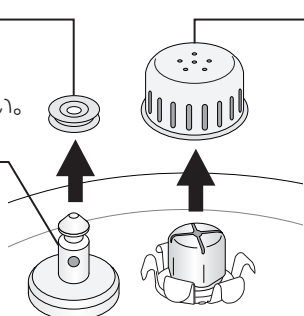
※ご使用ごとに洗ってください。

圧力ピンキャップ

圧力ピンから外して、
つまようじなどで
汚れを取り除いてください。

圧力ピン

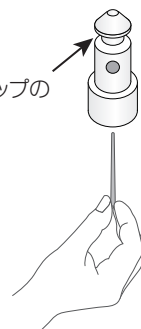
ふたの表側から抜き取り、
つまようじなどで詰りを
取り除いてください。



ノズルキャップ

引き抜いて異物を取り除き
台所用中性洗剤で洗い、よく
すすいでから、乾燥させて
ください。

圧力ピンキャップの
取り付け部分



お手入れ後、圧力ピンの向きに
注意してふたの表側から差し
込み、圧力ピンキャップを取り
付けてください。

電源コード

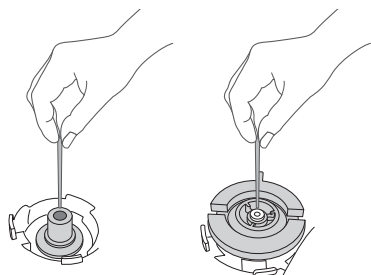
電源プラグの刃、刃の取付面やコンセントにホコリが付いて
いるときは、乾いた布でふき取ってください。



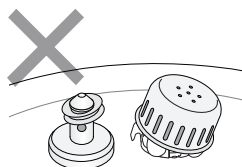
お手入れ2 汚れたらすぐにお手入れしてください。

おもり・ノズル

穴詰まりしていたら、つまようじなどで汚れを取り除いてください。




取り付け時には



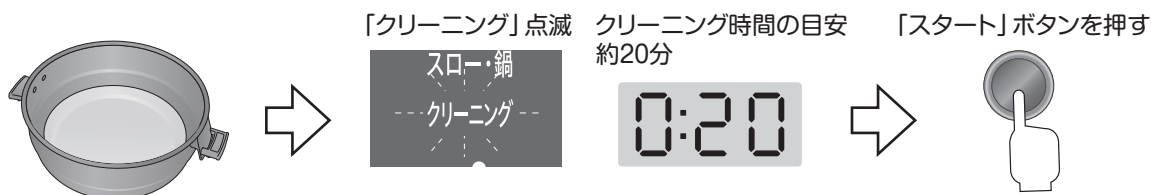
傾けたり、不完全な取り付けをしない

クリーニング

次の方法でお手入れを行うと、においを低減することができます。
※においによっては完全に落ちないものもあります。

- ①内鍋の「白米2」の目盛まで水を入れてふたを閉めてください。おもりのツマミを「」の位置にしてください。
- ②ダイヤルを回し「クリーニング」に合わせて、「スタート」ボタンを押してクリーニングを開始します。
- ③クリーニング終了後、本体が冷めてからお湯を捨て、その後お手入れをしてください。

※途中でクリーニングを停止させたいときは「とりけし」ボタンに触れてください。



お願い

- クリーニング後もにおいが気になる場合は、もう一度クリーニングを行ってください。においによっては完全に落ちないものもあります。
- 空だきはしないでください。
- 水以外(洗剤など)は絶対に入れないでください。
- クリーニングを行うときは、水は「白米2」の目盛より多く入れないでください。クリーニングがうまくできない原因になります。
- クリーニング中は蒸気口から蒸気が出ますので、やけどなどにご注意ください。
- クリーニング後、内部が熱いうちにふたを開けると、熱い蒸気が多量に出ることがありますので、やけどにご注意ください。

お知らせ

- 炊飯直後・クリーニング直後は本体やふたが高温になります。本体とふたの温度が高いとうまくクリーニングできませんので、冷ましてからクリーニングを行ってください。冷まらずにクリーニングを行った場合、クリーニング時間がのびることがあります。また、クリーニング終了までの目安時間がしばらく表示されない場合があります。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなとき

「スタート」ボタンを
押ししても動作しない

ご確認ください

- 電源プラグは、コンセントにしっかりと差し込まれていますか。
→電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
- ふたは、閉まっていますか。
→ふたを確実に閉めてください(P8参照)。

蒸気が漏れる

- 加圧の過程で圧力ピンから一時的に蒸気が出るのは異常ではありません。蒸気漏れが止まらない場合は下記の点を確認してください。
- パッキンが正しく取り付けられていますか。
→パッキンを正しく取り付けてください(P5参照)。
- 圧力ピン、圧力ピンキャップが正しく取り付けられていますか。
→圧力ピン、圧力ピンキャップを正しく取り付けてください(P7参照)。
- 内鍋、パッキン、圧力ピンに異物が付いていませんか。
→異物を取り除いてください。
- 内鍋、ふた、パッキンが変形したり傷がありませんか。
→電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

蒸気や煮汁が吹き出す

- 加圧の過程でおもりから一時的に蒸気が出るのは異常ではありません。蒸気が出続ける場合は下記の点を確認してください。
- 材料や水・調味液の量が多すぎませんか。(最大目盛を超えていませんか。)
→付属のレシピ集を参考に、量を調整してください。
- おもりが正しくセットされていますか。
→おもりを正しくセットしてください(P7参照)。
- 圧力調理中におもりを外していませんか。
→圧力調理中は、絶対におもりを外さないでください。けが・やけどの原因になります。

調理がうまくできない
(生煮え、煮えすぎ、焦げるなど)

- 圧力や加熱設定を間違えていませんか。
→付属のレシピ集を参考に、設定してください。
- 水や調味液の量を間違えていませんか。
→付属のレシピ集を参考に、量を加減してください。
- 熱板や温度センサーに異物が付いたり汚れていませんか。
→異物を取り除き、お手入れしてください。
- 調味液や調味料を溶かして入れましたか。
→調味液や調味料は、よく溶かしてから入れてください。

時間表示が変わらない

- 「スタート」ボタンを押した直後ではありませんか。
→調理開始後、圧力が一定に上がるまで表示は変わりません(P4参照)。

上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

こんな表示がでたら

E1 E2 →

- 温度センサーの故障です。
→すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。

E8 →

- 圧力スイッチの故障です。
→すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。

OPEN →

- ふたは、確実に閉まっていますか。
→ふたをしっかりと閉めてください(P8参照)。

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。
- 保証期間後の修理
お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認していただき、それでも異常のあるときは、ただちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は、絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口

ダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

- Eメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は
info_a@yamazen.co.jp

※お問い合わせの際には、保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。

点検

電源コード、電源プラグはときどき点検を行ってください。

※電源コードやプラグに異常があるときは修理をご依頼ください。

- 電源プラグやコードが手で持てないくらい熱くなり、異常と感じたときは、次のことをご確認ください。
 - 1.同じコンセントで他の電気製品を使っていますか。
→コンセントの容量いっぱいで使用すると、発熱する原因になります。
 - 2.電源コードに傷があったり、異常に柔らかい部分がありませんか。
→電源プラグ付近のコードは、抜き差し回数が多かったり、電源プラグをもたずに抜いたりして負荷をかけると内部で断線することがあり発熱します。
 - 3.電源プラグが変形したり、変色、汚れが付着していませんか。
→コンセントとの接触不良で発熱する原因になります。
 - 4.別のコンセントでも熱くなりますか。
→別のコンセントで症状がでない場合は、使っていたコンセントを確認してください。
差し込みがゆるくなっていると熱くなる原因になります。
- 運転中、電源コードを動かすと電源が切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。